

授業科目名		担当講師名		対象学年	
在宅看護論実習		益田 裕子		3年次	
授業形態	単位(時間)	教室等	学期	曜日	時限
実習	2(90)	大島郡医師会訪問看護ステーション 生協訪問看護ステーションあまみ	前期 後期	月～金	8:30～15:30
実務経験	本科目は、看護師として実務経験のある教員が担当している。				
学修内容	個々の家族を含んだ対象の状況に応じた在宅看護を展開するために必要な知識・技術・態度を学ぶ				
到達目標	<町村保健センター> 市町村保健センターの実習を通して、地域社会の住民への保健サービスを学び、看護の役割を理解する <訪問看護ステーション> 地域で療養する人々やその家族を理解し、在宅看護における看護の機能と役割の実際について学ぶ				
事前学習	地域保健、介護保険等の法律について 在宅看護技術、筋萎縮性側索硬化症(ALS)、在宅におけるターミナルケア、緊急時の看護等				

授業計画

No.	授 業 内 容
1日目～5日目 <市町村実習>	1. 1日目は学内で市町村実習及び訪問看護ステーション実習について教員のオリエンテーションを受ける。 2. 2日目から各市役所、役場での実習を行う。 ・各事業について事前、事後学習レポートを提出 ・各事業に同行・参加し市町村における地域サービスを学ぶ 3. 市町村実習最終日に反省会を行う
6日目～15日目 <訪問看護ステーション実習>	1. 学生は1事例受け持ち利用者の看護過程を展開する 2. ケースカンファレンスを実施する。 3. 受け持ち以外の利用者宅を訪問看護ステーションのスタッフとともに訪問し、訪問看護の実勢を学ぶ。 4. 訪問看護ステーション実習最終日に反省会を行う。 5. 最終日に学内実習にてカンファレンス・リフレクションを行う。
履修上の要件	在宅看護概論、在宅看護論Ⅰ～Ⅲを修得していること
テキスト、教材、参考書	領域別実習要項、系統看護学講座 在宅看護論 医学書院
成績評価の方法	在宅看護論実習 評価表に基づいて出席状況、実習内容、実習記録、態度の総合評価
備考	各実習施設への通学手段は学生各自で確保しておく 施設の駐車場を利用する場合は事前に施設へ連絡が必要